



2002年 4 月号

平成14年3月25日発行

NPO法人は128団体になりました。

NPO担当では、法人申請の相談も受け付けています。書類の書き方、申請方法のわからない方、お気軽にご相談ください。

県内の市民活動 イベントのスケジュール

3月～6月に三重県内各地で開催される市民活動のイベントを事前にお知らせします。

ネットワークのよびかけ

今月は9件あります。ロゴマークや俳句スクーリング生徒、イベントスタッフ募集のほか、2月に開催された志摩市民活動交流会の報告があります。

助成金情報

市民活動を資金面からサポートする助成金情報です。活動内容に合わせて生かしてください。今月号は5件の情報を掲載しています。

NPOリレーインタビュー

ごっつ たかはし みほ
「極津」代表 高橋美帆さん

昨年6月によさこいソーランのチーム「極津」を結成した高橋さん。楽しく元気に踊ることが地域との関係を深め、市民活動へと繋がっていきました。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。

イベントスケジュール

志摩サイバーキャンプ開催

- とき/3月28日(木)~30日(土) ●ところ/賢島ビューホテル
- 内容/地元の旅館組合、漁協組合などの協力を得て春休みに「志摩サイバーキャンプ」を行います。このキャンプは志摩サイバーベースセンターなどでのIT(情報技術)の習得と志摩の自然体験を合わせた、子どもたち向けのプログラムとなっています。体験メニューは「てこね寿司料理体験」や「星空の観察」など志摩の「地のもの」にこだわっています。観光客や宿泊客が減少する中、夏休みなどの長期休暇向けのプログラムや、4月から開始される学校週5日制に対応したプランづくりにつながればと考えています。
- 問い合わせ先/Tel.0599-46-0075
- 主催/志摩子ども自然学校実行委員会(株式会社ハイパーコミュニケーションズ、志摩地域高度情報化推進協議会)

イントロ他です。対象は障害をおもちの方、一般の方、ボランティアに興味を持っている方です。

- 申込締切/4月30日(火)
- 申込先/鈴鹿郵便局私書箱29号 笠田様方 ふれあいパーティ準備委員会 E-mail mie/suzuka7350@jp-c.ne.jp

裸足で走れ ビーチフラッグ大会

- とき/5月19日(日)AM9:00受付(雨天時26日)
- ところ/町屋海岸(津市) ●参加費/無料
- 内容/ビーチフラッグ大会のほか、フェニックスの植樹や海岸清掃なども行います。250人限定のおにぎりや貝のみそ汁の無料ふるまいもあります。
- 申込・問い合わせ先/宮田 Tel.059-232-4306
- 主催/町屋百人衆

やさしさいっぱいそよ風のコンサート

- とき/6月15日(土)PM1:30開場~PM4:00終演
- ところ/鈴鹿市文化会館・けやきホール(鈴鹿市飯野寺家810 Tel.0593-82-8111)
- 参加費/大人 前売2500円(当日3000円) 中学生 前売1500円(当日2000円) 小学生 前売1000円(当日1500円)
- 内容/「今 だいじなこと たいせつなこと それは ひとり ひとりが じぶんを とりもどすこと それは 地域が げんきに なること そんな コンサートをお贈りします」世界的に活躍し、NHK特別番組の音楽も製作している世界的シンセサイザー奏者、矢吹紫帆さん。今、三重県熊野に住む矢吹さんは、海の見えるカフェと音楽ホール“天女座”をつくられました。ここには有名な音楽アーティストを始め、内外からたくさんの方が訪れ、今や地域活性化のモデルとなりつつあり、そのための視察もあるといわれています。今回のコンサートでは三重県も取り組んでいる世界遺産登録の熊野の良さを音楽と映像で表現し、そして会場となる鈴鹿の文化も音楽で綴ります。来られたおひとり、おひとりのところにかぎりなくやさしい旋律を特別プログラムとしてご用意しました。
- 募集人数/先着500人
- 申込・問い合わせ先/矢吹紫帆コンサート事務局 Tel.&Fax.0593-78-2080
- 主催/21世紀・暮らしといのちを楽しむ会
- 後援/三重県、鈴鹿市、(財)鈴鹿市文化振興事業団

知られざる松阪文学のルーツ

「ふるさと文化まちおこし講演会」

芭蕉の師、北村季吟と松阪の文人、荒木定道

- とき/4月13日(土)PM1:00開場 PM2:00開演
- ところ/松阪市産業振興センター(松阪市役所東)
- 参加費/無料 ●募集人数/190人
- 内容/松阪文学のルーツ・荒木定道は今から300年前、芭蕉の師である北村季吟と親交が厚く、今日の松阪の文学に大きな影響を与えています。講師は松阪出身の岡本勝さん(愛知教育大学教授・文学博士)です。
- 主催・問い合わせ先/「NPO俳句みえ」ふるさと文化まちおこし実行委員会 Tel.059-255-2651

第1回 動物福祉推進セミナー

- とき/4月21日(日)PM1:00~PM4:00
- ところ/みえ県民交流センター イベント・情報コーナー(津市羽所町700 アスト津3階 Tel.059-222-5995)
- 参加費/無料
- 内容/人と動物とのよりよい関係とはどのようなものであるべきか。そのような関係を築き維持するために、私たちは何をすべきか、あるいは何ができるのか、共に学び考えるためのセミナーです。講師は「動物の命を救う会TAPS」代表の濱井千恵さんとNPO法人「人と動物の共生をめざす会」副理事の山越哲生さんです。なお、当日はパネル展示もあります。
- 問い合わせ先/NPO法人「人と動物の共生をめざす会」(担当:武本) Tel.090-1728-5144 E-mail takemoto-m@luck.ocn.ne.jp

ネットワークのよびかけ

「エムテレ」出よに。

三重テレビからの提案

三重テレビでは4月から情報番組「エムテレ」(火~金曜のPM6:00~PM6:30)をスタートさせることにしています。そこで、県民の皆さんに提案があります。これからの時代はテレビ局の社員だけが番組をつくる時代ではありません。皆さんの目線で、皆さんと一緒にコーナーをつくっていきたく考えています。皆さんのまわりの身近なテーマを皆さん自身でカメラを回し取材してみませんか。そしてスタジオに来てレポートしてみませんか。カメラの貸し出しや取材・編集のお手伝いも可能な限りさせてもらおうつもりです。なお放送は毎週水曜日の約4分の枠を予定していて、政治や布教、営利等が

ふれあいパーティ開催

当日お手伝い頂ける方も募集

- とき/5月5日(祝)AM10:00~PM3:00
- ※雨天中止連絡時間 AM6:00に決定、前日に分かれば、その時に連絡します。
- ところ/鈴鹿青少年の森公園
- 参加費/2000円(参加記念品あり)
- 内容/障害者の方と健常者が一緒にふれあい、お互いにゲームをして、交流を深めることが目的のパーティ。ゲーム内容はビンゴ、

目的のもの、個人を誹謗中傷するような内容はご遠慮ください。
私たちと一緒に「三重の今」を伝えませんか？興味をお持ちの方は
ぜひ連絡してください、待ってます！

【例えば…】中学生が部活動を、高校生が“名物先生”を、NPOの皆さんが日頃の活動や催しを、大学生の皆さんがボランティア活動について…等を取材して(可能なら)スタジオでレポートしてもらおうというもので、いわゆる「投稿ビデオ」的なものではありません。

●連絡先／三重テレビ放送 報道制作部(担当:小川、平田、坂口) TEL.059-223-3360,3361
FAX.059-228-9334(小川宛)
E-mail ogawa@mietv.co.jp

いっしょに考えてみましょう、 わが家のこと、わがまちのこと。



～住宅を地震に負けないようにする(耐震化)の取組への提言
とその検討をする会への参加者を募集します～

地震は起きてから対策をするのでは遅すぎます。そうならないようにするために最も大事なことである住宅を丈夫にする、地震に負けないようにするという住宅の耐震化は、古い木造住宅では、ほとんどなされていない状況です。このような状態をなくしてこういふことで県は「住まいの耐震化等推進事業」を2002年度から進めています。また、2002年の9月頃までに、この事業を効果的に、早く、みんなでどう進めていくかについての、具体的な計画を作る予定です。この計画の作り方ですが、学識経験者を交えた委員会で審議する案について、事前に住民・NPO・専門家・市町村・県で構成される検討会場で協議をするというものです。検討会での協議以外にも、県ホームページでの途中経過の公表と意見募集も行います。計画づくりと併行して県内9地域での事業促進のための場づくりも検討中です。

【提言等の募集】

計画を作るにあたってのご提言や住宅の耐震化全般についての疑問点を募集します。(今後は、アイデア募集なども行っていきます)。

●応募方法／【提言等の募集】は、提言等をお書きいただき、住所、氏名、連絡先(電話番号・E-mail)をご記入のうえ、郵送・Fax・E-mailでご応募お願いします。

●応募締切／4月23日(火)必着

●ご注意／いただいた提言等は公表することを原則とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

【検討会への参加】

住宅の耐震化について、継続的に前向きな取組姿勢で検討会に参加し、住宅耐震化を進めていくのにどうしたらよいかの協議をしていただける方を募集します(募集枠は1名、参加手当はありません)。

●とき／平成14年4月下旬から9月にかけて月1回くらい、平日PM6:00から1時間半程度。

●ところ／県庁または津駅周辺

●応募方法／次の(1)から(3)について、A4紙1枚以内に作文していただき、住所、氏名、連絡先(電話番号・E-mail)をご記入のうえ、郵送・Fax・E-mailでご応募お願いします。(1)今回応募についてのあなたの動機、(2)住まいとまちの耐震化についてのあなたのお考え、(3)もしあれば、ボランティア・市民活動分野でのこれまでの活動。

●応募締切／4月9日(火)必着

●ご注意／応募者多数の場合は、応募時の作文の内容により県で選考させていただきますのでご了承ください。

●申込・問い合わせ先／514-8570 (住所不要)三重県県土整備部住宅チーム (住宅耐震担当:小川) Tel.059-224-2720 Fax.059-224-3147 E-mail kenju@pref.mie.jp

MIEチャイルドライン ロゴマーク募集

MIEチャイルドラインは、母体である特定非営利活動法人三重県子どもNPOサポートセンターのミッションである「全人的発達」と「社会参画」をコンセプトに実施している『青少年による青少年のための電話』です。より多くの青少年にこのラインのことを知ってほしく、イメージしやすいロゴマークを募集することにしました。この機会にチャイルドラインのことを知っていただき、ごぞって応募ください。

●応募資格／年齢は問いません。ただし、応募作品未発表のものに限ります。

●応募作品／ロゴマーク…イラスト・データなど形式は自由。採用された作品についてはMIEチャイルドライン準備会(MIEチャイルドライン)が権利を持ちます。

●募集締切／4月末日必着

●選考基準／応募作品は、MIEチャイルドラインの主旨がいかにか表現されているかを基準とします。

●副賞／採用・3万円(1人) 優秀賞・1万円(2人)

●発表／5月25日 MIEチャイルドライン総会

●応募方法／作品は連絡先を明記の上、下記の住所へ提出。

●応募・問い合わせ先／514-0002 津市島崎町132-40

特定非営利活動法人 三重県子どもNPOサポートセンター内
MIEチャイルドライン準備会 ロゴマーク募集係

Tel.059-223-4944 Fax.059-223-3100

E-mail kodomo@aqua.famille.ne.jp

ろうきん東海NPO寄付システム

¥¥¥¥¥¥100円からできるボランティア

環境保全、福祉、国際貢献、子どもの健全育成…。今、様々な分野で、これからの社会づくりの新しい担い手として、市民活動やボランティア活動を推進していく非営利の市民組織・NPOへの期待が高まっています。「ろうきん東海NPO寄付システム」はこうしたNPO・市民活動と広範な市民・勤労者をつなぐ新しい参加のカタチ。東海地方の多様な市民活動を幅広くサポートします。寄付は毎月100円からの口座振替。気軽に始められて、主体的に選べる。新しいボランティア活動にぜひご参加ください。

【支援NPO団体等リスト】

赤目の里山を育てる会、あしなが育英会、伊勢まごころ、インド福祉村協会、大垣おやこ劇場、お達者くらぶ、おもしろ介護の会つくしんぼ、共生会、グッドライフ・サポート・センター、骨髄バンクを支援する愛知の会、「世界寺子屋運動」名古屋実行委員会、たすけあい名古屋、宅老所はじめのいっば、財団法人中部盲導犬協会、中部リサイクル運動市民の会、テトテ、財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団、花時計、ボレボレ基金、りんりん

●申込方法／「NPO寄付システム申込書」を最寄りのろうきん東海本支店窓口まで提出してください。一人で複数の申込も可能です。(寄付先ごとに「申込書」が必要)個人の方も、労働組合などの団体単位でのお申込も可能です。

●問い合わせ先／ろうきん東海本支店窓口

サンフランシスコNPO継続インターンシップ 第4次生参加者募集中

米国のNPO法人、日本太平洋資料ネットワーク(JPRN)は、2001年秋から「サンフランシスコNPO継続インターンシップ・プログラム」を実施しています。サンフランシスコ周辺にある5つのNPOに、日本

から2カ月余りインターンを4回継続して派遣、NPO運営やNPOが扱う問題への理解を深めていただくものです。各回の間に1週間、前任者と後任者が重複する期間を設け、引継ぎを行います。また、それぞれのインターンシップ期間中に、現地でパブリック・プログラムを開催し、プログラムの企画、運営について実践的に学んでいただけます。詳しい内容は、ホームページをご覧ください。E-mailでお問合せください。

- 受付締切／4月1日(月) ●参加費／24万8000円
(滞在費、プログラム費のみ、渡航費や食費は別)
- 事業の期間／平成14年5月27日～8月9日
- 問い合わせ先／E-mail jprn@igc.apc.org
ホームページ http://www.jprn.org

に、お知り合いの店に盲導犬が入店OKシールを貼っていただけるように勧めていただきたいのです。

それ以外にも、点字メニューを置いていただける飲食店を探していただく(点字メニューの作成は当方でいたします)・盲導犬普及のための募金箱を置いていただけるお店を探していただく・街頭募金活動に御協力いただくなどもお願いしています。

この目的のためにご協力いただける方を募っています。詳しいご説明が必要かと思えます。お気軽に事務局におたずねください。

- 申込・問い合わせ先／514-0027 津市大門7番15号津センターパレス3階 津市市民活動センター内 こもれびセンター
Tel.059-222-8419 Fax.059-222-8419
- 主催／津市視覚障害者福祉会、久居市視覚障害者協会
- 後援／津市社会福祉協議会、津市ボランティア連絡協議会

わんわんキャンペーンネットワークのよびかけ 「知ろう、増やそう、育てよう」

このネットワークは盲導犬だけでなく介助犬、聴導犬、災害救助犬の育成もめざします。たとえば視覚障害者の目の代わりに果たす盲導犬も、本当に役に立つようになるためには、社会が盲導犬を受け入れる体制がなければ目の役目は果たせないのです。社会が受け入れる体制づくりをお手伝いするためにこのネットワークは企画されました。例えば、「このお店は盲導犬を連れて入れるよ」と教えていただける事が重要です。同時に盲導犬を連れて入れる店を増やすため



初歩の初歩 やさしい 俳句スクーリング生募集

俳句を始めて見ようと言う人の講座です。資格は1年間続けられる人。講座のほか、楽しい吟行会もあります。

- とき・ところ／【午前の部】AM10:00～正午
【午後の部】PM1:30～3:30

『桑名市』	桑名市市民会館	第3水曜日
『四日市』	四日市市文化会館	第2土曜日・第3木曜日
『鈴鹿市』	鈴鹿市文化会館	第3金曜日
『津市』	アスト津3階	第2火曜日・第2木曜日
『津市』	敬和公民館	第3金曜日
『久居市』	ポルタひさい3階	第2水曜日

志摩市民活動交流会

2月17日鵜方公民館にて開催



当日行われたワークショップの様子。

報告 志摩市民活動通信

志摩地域で活動されているボランティアや市民活動の方々、約80人の参加で、にぎやかに開催されました。

先に行われた、「志摩市民活動フェスティバル(パネル展)」での紹介グループに加え、新たに取材した皆さんにも参加いただき、それぞれの活動の情報交換や運営の悩みなど、ワークショップを交えて、楽しく話し合いました。

当日は青年男女に元気な高齢者、たくさんのお子様たち、障害を持つ方々など、いろんな方々の明るく活発な交流会になり、「ほとんどの皆さんが自主的に活動を始めていること、地域での市民活動全体がまだ盛んではないこと、市民活動への理解やサポートする仕組みが不足している」など、たくさんの意見が交わされ、市民活動の大切さとその支援体制の重要性を感じました。

この交流会が、志摩地域に市民活動が広まっていくきっかけになることを期待しています。



活発な意見交換が行われました。

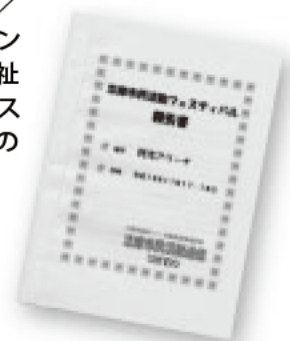


※「志摩市民活動通信」は三重県地域NPO活動基盤整備事業の委託を受け、志摩地域の市民活動の情報支援を行っています。

【取材先】

明日の志摩を考える会(ASK)／あゆむ会／伊勢志摩地域振興協議会／いちごの会／志摩おもちゃ図書館キラキラ星／志摩市民活動通信／志摩地域高度情報化推進協議会(SURF)／志摩の海を守る会／project志摩国(しまのくに)／志摩フィールドキャンパス21／志摩朗読グループいそぶえ／太陽ランド／ネパール・マ・ジャニ／手話サークルやまもも／アトリエ・エレマン・プレザン／椿アンサンブル／NPO法人伊勢志摩福祉の会ほほえみ／びよびよ／志摩ガスボランティア／希望の会／しおぎくの会／ふれあい志摩

- 問い合わせ先／志摩サイバーベースセンター
310号室 SURF内
志摩市民活動通信
Tel.0599-43-4564



『久居市』 久居市中央公民館 第2木曜日
 『松阪市』 松阪産業振興センター 第2月曜日
 『伊勢市』 伊勢市観光文化会館 第3土曜日

- 会費／無料(ボランティア講師)
 - 教材費／300円程度と会場費実費
 - 募集人数／各20人(定員になり次第締切)
 - 申込・問い合わせ先／NPO俳句みえ事務局(担当:光野)
- Tel.059-255-2651
- 主催／三重県、NPO俳句みえ協働事業

開催は来年2月!

「子どもメッセ開催実行委員」募集



～キーワードは子ども＝未来～
 地域社会のなかで、子どもがしあわせに生活(くら)していける“未来”を考えませんか。子ども、環境、福祉、国際交流…いろいろな分野のNPO、企業、行政などが協働して開催していきたいと思ひます。関心のある方はぜひ実行委員会にご参加ください。子どもの未来に地域社会はどうあるべきか、これから

さまざまな企画をつくっていききたいと思ひます。

【第1回子どもメッセ開催実行委員会】

- とき／4月18日(木)PM6:30～PM9:00
- ところ／みえ市民活動ボランティアセンター(津駅前 アスト津3階)
- 問い合わせ先／514-0002 津市島崎町132-40 三重県子どもNPOサポートセンター Tel.059-223-4944
- Fax.059-223-3100
- 主催／子どもメッセ実行委員会準備会

みなさんへのお知らせ

【NPO担当から】

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は4団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部生活課NPO担当及び各県民局生活環境部に備え置いてあります。

●認証申請団体

- (1)名称、(2)申請年月日、(3)代表者の氏名、(4)法人の事務所の所在地、(5)縦覧期間、(6)認証の種別、(7)定款に記載された目的。

【123】

- (1)特定非営利活動法人国際教育機関
- (2)平成14年2月26日
- (3)高橋有弥
- (4)四日市市芝田一丁目6番7号
- (5)平成14年4月26日まで
- (6)設立
- (7)この法人は、国際理解・交流・協力及び地域の国際化のための事業を行うことにより、グローバル社会において必須とされる国際理解を促す活動を基軸とした、地域の異文化交流の振興・発展に寄与することを目的とする。

【124】

- (1)特定非営利活動法人紀北くまの道
- (2)平成14年3月6日
- (3)川端 守
- (4)尾鷲市馬越町1509番地の49
- (5)平成14年5月6日まで
- (6)設立
- (7)この法人は、熊野古道の保存・保全及び古道を利用した地域住民の活動の支援を行い、住民と行政の協働によるまちづくりを目的とする。

【125】

- (1)特定非営利活動法人多度自然育成の会

- (2)平成14年3月11日
- (3)水谷雅恒
- (4)桑名郡多度町大字北猪飼字野添582番地1
- (5)平成14年5月11日まで
- (6)設立
- (7)この法人は、環境にやさしい町づくりのため、環境保全に関する各種事業を行い、もって地域住民の福祉の向上に寄与することを目的とする。

【126】

- (1)特定非営利活動法人グリーンアップル
 - (2)平成14年3月13日
 - (3)辻 幸弘
 - (4)亀山市野村三丁目6番7号
 - (5)平成14年5月13日まで
 - (6)設立
 - (7)この法人は、障害者と高齢者の就労支援及びコンピュータを媒体とする社会参加活動の促進に関する事業、そして、誰もが暮らしやすい街づくり(バリアフリー)推進事業を行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。
- (平成14年2月16日から3月15日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

- 特定非営利活動法人リベラ(平成13年12月25日)
 - 特定非営利活動法人日本文化コミュニケーションサークル(平成13年12月25日)
 - 特定非営利活動法人ゆうあい(平成14年1月18日)
 - 特定非営利活動法人子どもサポート鈴鹿(平成14年2月1日)
 - 特定非営利活動法人フットボールクラブ菟野(平成14年2月1日)
 - 特定非営利活動法人みえ青少年ボランティアネットワーク(平成14年2月18日)
- (平成14年1月16日から14年3月17日登記完了届出分)

フリーマーケット情報

【ジャスコ久居店フリーマーケット】

- とき／4月28日(日)AM9:00～PM3:00
- ところ／「ジャスコ久居店」駐車場
- 参加費／1区画(約5mx5m)1000円(当日集金)
- 内容／飲食物および営業行為の方は出店不可。詳細は予約完了後に郵便・Faxにて連絡させていただきます。
- 申込方法／下記の携帯電話にて留守録音受付をします。音声ガイダンスが流れた後に名前・住所・電話番号(あればFaxも)・出店する品物を録音してください。
- 申込先／Tel.090-5874-9501 ●主催／ひさい「地球村」
- 共催／久居フリーマーケット連絡会 ●協賛／ジャスコ久居店

【くわな駅前フリーマーケット(毎月第2日曜開催)】

- とき／第12回 5月12日(日)AM10:00～PM4:00(雨天決行) ●ところ／桑名駅前ロータリー
 - 参加費／一般3000円・プロ4000円
 - 申込・問い合わせ先／511-0079 桑名市有楽町50 桑名フリーマーケット協会
- Tel.&Fax.0594-21-2990 Fax.0594-76-1433
 E-mail kazuki-m@mue.biglobe.ne.jp
- 主催／桑名駅前商業研究会
 - 後援／桑名市、桑名商工会議所

助成金 ニュース

平成14年度文化振興基金活用事業

- 受付期間／4月2日(火)～5月16日(木)
- 助成の目的／三重県では、県内に活動本拠を置く文化団体などが、地域の特色を活かしながら自ら企画して行う創造的な事業に対し助成を行います。
- 助成の額／事業実施に要する経費から入場料やその他の収入を差し引いた

た、団体負担金の2分の1以内で20万円を上限とします。

応募方法 / 団体の事務所の所在する市町村の文化担当課へ申請ください。(申請様式は市町村の文化担当課や各県民局の生活環境課でお受け取りできます。)

問い合わせ先 / 三重県生活部文化振興担当 Tel.059-224-2646
Fax.059-224-2408

セブン-イレブンみどりの基金 環境リーダー海外研修

受付締切 / 4月30日(火) 必着

助成の目的 / セブン-イレブンみどりの基金では、人材育成サポート事業の一環として環境ボランティア活動を率先できるひと、様々な困難の中で現在リーダーシップを発揮し、ボランティア団体を運営している人を公募、海外研修を行ないます。あたらしい可能性と日本のボランティア活動の未来のため、ぜひ『環境ボランティアリーダー海外研修』にご参加下さい。ふるってのご応募お待ちしております。

なお、環境リーダー海外研修に参加された方々は、帰国されたのち報告書を提出していただきます。また、平成14年11月3日(土)~4日(日)日本で開催する環境リーダー交流会議(仮称)にもご出席いただけます。

応募条件 / 現在、環境ボランティア活動における実践活動を行なっている方
参加費 / セブン-イレブンみどりの基金において全額負担いたします。旅券印紙代、団体行動以外の飲食代、電話代、洗濯代、超過手荷物料金、成田空港までの交通費などは、参加者の負担とさせていただきます。

募集人数 / 5人

参加プログラム / ニュージーランドにおいて環境ボランティア活動をされている方々との交流や世界遺産に登録されている国立公園において体験プログラムを予定しております。

期間 / 平成14年8月18日(日)~8月27日(火)

応募方法 / テーマ作文(400字詰原稿用紙10枚以内 / 4000字以内)とエントリーシートを提出してください。作文のテーマは『環境ボランティアのリーダーとして...』環境ボランティア活動を行なう中で直面している問題点 / リーダーとしての対処・解決法 / 問題解決に立ち足る大きな壁とは?

問い合わせ先 / セブン-イレブンみどりの基金委員会 環境リーダー海外研修事務局 担当:羽田)

105-0013 東京都港区浜松町1-27-9 新浜松町ビル6階 セブン環境NPOセンター内 Tel.03-5777-8750
E-mail ahata@7midori.org

国際交流基金アジアセンター

平成14年度次世代リーダーフェローシップ

大学院生、NGO・NPO・地方自治体国際交流協会若手スタッフによるアジアでの調査研究をサポート

受付期間 / 4月15日(月)~5月10日(金) 消印有効

応募資格 / 応募時に以下のすべてに該当する方。

(1) 日本国内の大学院に在籍し、アジアを主要な研究対象としている人文・社会科学系の大学院生。もしくは、国際交流・国際協力の分野でアジア地域との共同作業を進める日本国内の非営利団体(NGO/NPO)

(2) 年齢が40歳以下の方。

(3) 対象国での調査・研究を行う上で必要な語学力を有する方。

(4) 日本国籍を有する方。もしくは、日本国に永住を許可されている方。

対象国 / アジア諸国(東アジア、東南アジア、南アジア) 台湾及び朝鮮民主主義人民共和国は対象になりません。

募集人数 / 7~8名

期間 / 3か月~1年(但し、出発は平成14年9月~平成15年3月末)

待遇 / 往復渡航費、月額基本奨学金他諸手当

調査・研究内容 / 人文・社会科学分野における関心事項をテーマとする調査・研究。将来的にもアジア地域との共同研究や共同作業が企画・実施される可能性が高いテーマでの調査・研究を優先します。非営利団体スタッフによる大学での研究や、大学院生のNPO調査も対象となります。

応募方法 / 募集要項・応募書類をご希望の方は、切手90円を貼付した返信用封筒(長形3号)に住所・氏名を明記して、下記事務局まで。

問い合わせ先 / (財)国際文化交流推進協会(エース・ジャパン)次世代フェロー係 107-0052 東京都港区赤坂1-11-28 赤坂1丁目森ビル4階 Tel.03-5562-4422 Fax.03-5562-4423

富士フィルム・グリーンファンド助成金

受付締切 / 5月20日(月) 消印有効)

助成の目的 / 『活動助成』は身近な自然の保全や、自然とのふれあいを積極的にやっている人々に対し助成を行います。

「研究助成」身近な自然環境の保全・活用の促進に関する具体的な研究や、ふれあいの場としての緑地の質的向上を目指した実証研究等を行っている人々に対して助成を行います。

なお、身近な自然の対象範囲は地域の里地や緑地、及び学校の樹林等を最小限のスケールとし、園芸の範疇に入るものは対象外とします。また自然とのふれあいとは、自然と接し楽しむだけでなく、上記のフィールドにおいて自然環境保全、自然環境教育、自然環境保護思想の普及に資する啓発につながるものとします。

助成の対象となる活動 / 上記の目的に合致した『活動あるいは研究』で、次の条件を満たすもの。

(1) 営利を目的としない活動や研究。

(2) 活動及び研究が行われるフィールドが日本国内であること。

(3) 活動助成の場合は、活動フィールドができる限り申請者(申請団体)によって既に確保されている等、活動フィールドの基盤がしっかりしているもの。研究助成の場合には、フィールドでの研究に対し、地主の許可もしくは協力関係が保たれているもの。

(4) 個人もしくは団体申請において、活動及び研究の実績があるもの。(ある程度実績があり、本申請により発展的な活動や研究を行うための申請であれば対象となる)

(5) 個人による申請の場合、助成金の使途が個人の趣旨に沿って的確・厳正であり、助成金の使途において本人あるいは親族等、特別な関係のある者に利益を与えないもの。

(6) 団体による申請の場合、代表者または管理者の定めのある団体で、役員その他の機関の構成、選任方法、その他事業の運営に重要な事項が特定の者、あるいは特別の関係者等の意志に従わずに、決定・運営されている団体。また、特定の者等に特別の利益を与えていない団体。

助成対象事業の期間 / 助成金贈呈日より1年間としますが、助成金を2年間にわたって利用することも認めます。

助成の額 / 『活動助成』『研究助成』を合わせて助成金額は650万円。助成件数は3件程度。

応募方法 / ハガキまたはFaxに住所・氏名・電話番号・活動助成あるいは研究助成の別を明記し、下記まで応募要項を請求してください。

問い合わせ先 / 公益信託富士フィルム・グリーンファンド事務局
110-8676 東京都台東区下谷3-10-10 財団法人自然環境研究センター内 Tel.03-5824-0960 Fax.03-5824-0970

電気通信普及財団 福祉、文化事業援助

受付締切 / 5月31日(金)

助成の目的 / 広く電気通信を普及、発展させることにより、高度情報社会の健全な進展を図り、わが国社会経済の発展に寄与することを目的として

- 1 電気通信に関する法律、経済、社会、文化的研究調査
- 2 電気通信技術に関する研究調査
- 3 電気通信を利用した福祉、文化事業
- 4 電気通信に関する学術交流及び国際協力に対して助成援助を行っています。今回はこの4部門のうち、3、4に対する援助を受け付けます。

助成の対象となる活動 /

(3) 電気通信に関するシンポジウム、セミナー開催及び電気通信の普及、振興に著しく貢献する事業。

(4) 電気通信を利用したボランティア活動。

(1) (2) (5) (6) に関しては援助先が大学など専門機関や研究者となるため略しました。詳細を知りたい方はホームページをご覧になるか、直接問い合わせてください。

申込方法 / (財)電気通信普及財団のホームページからダウンロードするか、問い合わせで申請書を入手してください。

申込先 / 105-0003 東京都港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル5階 (財)電気通信普及財団

Tel. 03-3580-3411(代) Fax.03-3580-3488(代)

ホームページ <http://www.taf.or.jp/>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。

財団法人 助成財団センター

Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858

ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>

▶▶▶▶▶ **がんばれネットワーク** ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。趣味の詩吟やアコーディオン演奏をいかして、施設の訪問を行っている前川いつ子さんが紹介してくださったのはこのコーナー登場者の中で最年少となる高橋美帆さんです。

一緒に楽しむ踊り「よさこいソーラン」

……よさこいソーランとはどういう踊りですか？

基本は音楽に地元の民謡をワンフレーズ入れて、鳴子を持って踊ることだけです。北海道のYOSAKOIソーラン祭りから始まって、今は全国30カ所くらいで祭りが行われています。

……高橋さんがよさこいソーランを知ったのは？

高校時代の友人である白山智恵さんが名古屋の「につぼんど真ん中まつり」というよさこいソーランの大きな祭りの実行委員長を去年、受け持ったんです。それで「よさこいソーランって面白いよ。チームをつくってみない？」と声をかけてくれたのが始まりでした。それまでは何も知らなかったんです。

……なぜ、高橋さんに声がかかったのですか？

高校時代、ソフトボール部の部長や室長などをやっていたからでしょうね。高校時代のニックネームは「だんちょ」でした。応援団の団長みたいに元気だからって(笑)。

……以前からダンスや踊りには興味があったのですか？

全然、なかったんです。始めた頃はみんな手も足も出ない……って感じでした。リズム感も全然で(笑)。指導する人もいなかったので、踊りは主にビデオを見て練習しました。新しい振り付けもみんな話ながら決めています。高校時代の創作ダンスの授業みたいな感じですね(笑)。

……そう聞くと、これから始めようとしている人も「ホッ」としますね。私たちは本当に楽しんでるだけで、技術にはあまりこだわっていません。もちろん、賞を取ることを目指しているようなチームもたくさんあります。その辺はその人なりにやれば良いと思います。

……チーム名と結成した時を教えてください。

チーム名は極津。津を極めると書いて「ごっつ」と読みます。結成したのは平成13年6月です。

……練習日は？

毎週金曜日に行っています。京都の大学に通っている子も毎週末、練習に帰って来るんですよ。

……現在、メンバーは何人ですか？

最初は15人くらいで始めて、今は約35人に増えました。51歳の女性と小学校6年生の子もいますが、ほとんどは高校時代の同級

生なので20歳前後の子です。

……どうやって人を増やしたのですか？

祭りなどで踊る時に「メンバー募集中です〜！」って声をかけたり、踊りを見て「楽しそうだから入れて」と来てくれた人もいます。私たち、踊っている時にお客さんを呼びに行くタイムというのをつくっているんです。周りの観客に声をかけて、一緒に踊るんですよ。それがきっかけでチームに入ってくれた人もいます。あとは友だちが友だちを連れて来るという感じで広がっています。今もメンバーは募集中！興味のある方はぜひ、遊びに来てください。

……お客さんを呼びに行くタイムというのはいいですね。

よさこいソーランは見ている人も入ろうという踊りで、他のまつりに参加しても各チームが踊りを見せた後、全チーム、観客を巻き込んで踊る「総踊り」というのがあるんですよ。これは「見ている方も一緒に踊ってください」ということなんです。私たちが観客の中に入って、手を引いて連れてくることもあります。名古屋どまんなかまつりの実行委員長をした友だちは「観客動員0(ゼロ)の祭りを目指す」と言っていました。観客はゼロで、全員が参加者という祭りがやりたいんだって。私たちが自分の踊りを見て「良かった」と言ってもらえるのも嬉しいけど、一緒に踊って「楽しかったわ、誘ってくれてありがとう」と言ってもらえたらすごく楽しいです。その後、チームに入ってもらえなくてもいいんです。一緒に踊ることで、その人たちも「祭りに参加した」と思えるでしょ？もともと観客は見に来ただけで、踊ろうというつもりはないでしょう。でも、一緒に踊ったらめっちゃ楽しいってわかってもらえるから。だから引き込み方もちょっと強引にひっぱってきちゃう(笑)。

……チームをまとめるうえで大変なことはありますか？

人数が多いほど、まとめにくくなりますし、練習に来なくなる人もいます。そのフォローが難しいです。事務局とまではいきませんが5人ぐらいが中心になって、今後の予定やみんなをまとめるための話し合いをしたりもしています。でも高校の友だち以外の人が増えたことでチームらしく、ピシッとなったと思います。

……練習に来ない人は祭りには出られないのですか？

本番が一番の楽しみですから、出してもらいます。ステージに立って、スポットライトを浴びるのって気持ちいいんです。ただ、後ろの方へ回されますけど(笑)。やっぱり、毎回練習に来ている子たちを目立たせてあげたいですからね。

……練習を継続していくことも大変でしょう？

マンネリにならないよう、新しい曲を取り入れたりしています。今は津音頭をヒップホップバージョンなどに編曲したのを使っています。

……チームをまとめる以外にも苦労はありますか？

衣裳や音楽の作成、県外などで踊る時にかかる旅費などで結構、お金がかかることですね。私もアルバイト代はすべて踊りのために使っているんです。

……遠くまで踊りに行くのですか？

3月には静岡県で開催される浜松よさこいへ行きます。あとは名古屋や大阪など。全国を網羅したよさこいソーランのホームページがあるので、それを見ては次はどこへ行こうか考えてます。

「極津」代表



高橋美帆

さんに

聞く

……よさこいソーランを始めたことで何か変わりましたか？

他県の祭りでも「行こう！」ってすぐに動き、毎日のスケジュールもよさこいソーラン中心(笑)。人生がすごく変わったと思います。極津のモットーは「笑顔で、元気で、楽しく踊ること」なんです。私たちは楽しみをみんなと共有したいだけ。私も、仲間も踊っているのがすごく楽しくて仕方がないんです。

踊ることが地元との繋がりを深める

……地元の祭りには参加されないのですか？

津まつりに参加して、「津まつりも捨てたもんじゃないなって」思いましたよ(笑)。津まつりは市内各所にステージがあるので、フェニックス通りには人は、リージョンプラザの方でも催しものがあることを知らなかったりするんです。だから私たち、ハッピーを着たまま、商店街を歩いたりしましたよ。それを見た人が「あっちで何かやっているみたい」と思ってくれないかなと考えたんです。

……そのアイデアは誰が？

みんなで考えました。ハッピーを着ると、「自分も祭りに関わっているんだ、盛り上げてやるぞ」って気分になるんです。

去年の私よりも、今年はちょっと津市、地域に関わっているなという気がしていますから

……他チームとの交流はあるのですか？

津市だけでも何チームもあり、懇親会なども行われています。20歳前後の子がチームをつくっているのは珍しいみたい。チームのなかに2、3人若い子がいる所はあるんですが、ですから、よさこいソーランを通じて知り合ったのはすべて年上の方ばかりなんです。

……年上の人とつき合うのは難しくないですか？

私はまだ学生なんですが、このおかげで社会を学んだような気がします(笑)。気もそれなりに遣いますし、敬語とかも必要ですから。

……お祭りって夏から秋に集中しませんか？

冬は少ないですね。行事と行事の間が空くと寂しいですから、高齢者施設などへ「よさこいソーランを踊らせてください」とお願いに行っています。これまでに白塚町にあるデイケアセンターと鈴鹿市の高齢者施設を訪れました。

……評判はどうでしたか？

最初は施設側も「音楽が激しいから、お年寄りにはどうかな…？」と考えたそうです。当日も踊り始めるまではスタッフの方が音楽のボリュームを絞ってました。でも踊り始めたら利用者の方も、拍手や「どっこいしょ」とかけ声を出して応援してくれて、いつの間にか音量も上がってました(笑)。凄くウケが良かったんですよ。終わってからも「ちょっと若返った気がする」とか言われて嬉しかったです。

……一緒に楽しむための工夫はされましたか？

一緒に踊るのは無理ですから、みんな考えて、鳴子を皆さんに配ることにしたんです。数が足りない分は安価な物を買ってきたり、ペットボトルを使って工作し、補いました。

……よさこいソーランをしていなかったら、老人施設へ行くことも無かったですよね？

そうだと思います。高校時代に合唱部で一度、ボランティアに行っただけですが、それは先生が決めて来たことで、自分たちで行こうとは



高橋さんが通っている三重大大学の大学祭や母校の同窓祭でも踊りました。

思わなかったです。

……出演依頼も来るのではないですか？

先方から呼んでいただいたのは豊里商工会の豊里まつりと津子どもNPOセンターのイベントだけです。後は自分たちで調べて参加しました。メンバーの通っている学校の学園祭とか、踊れる場所を見つけたらどんどん参加していきます。

……もし依頼されたら？

絶対行きます！

……津子どもNPOセンターのイベントとはどんなものですか？

今年の2月に開催された「いま、表現2002」で、「伊勢ヤートコセ」という踊りを練習して三世代ヤートコセ団の一員として出ました。

……感想は？

他のチームの人と一緒に、一曲のなかでそれぞれの分担を決めて踊ることも、インストラクターの方に指導してもらったのもこの時が初めてだったんです。今までは振り付けも含めてすべて自分たちで勝手にやっていたので、ずいぶん違うなと感じました。いつもより「ピシッ」と引き締まった気がしました。「たまにはこういうのもいいなあ」って。あと、子どもたちと一緒に踊れたのが楽しかったですね。小学生が「南中ソーラン」というのを踊ったんですけど、しっかりまどまどしていて感動しました。なかには「お姉ちゃん」って、なついてくれた子たちもいましたよ。

……よさこいソーランを始めて、地元との関わりも増えたのでは？私、地元が大好きで、将来は地域に密着した職業に就きたいんです。こうして踊るようになって地域の活性化というのは強く考えました。今は地元のまつりには全部出たいと思ってます。大里敬老会や地区の文化祭などに参加することによって大里地区の人が極津というチームがあることをわかってくれたように、津市全体にも広がっていったらと思っています。

……活性化について具体的に考えていることは？

参加型というのが大事だと思います。あと最近は近所の人としゃべらないという話も聞きますけど、活性化は仲良くなってから始まるんじゃないの？と思います。具体的に「こんなことをすれば？」と言えないのが歯がゆいんですけど、それでも一歩前進したように思います。去年の私よりも、今年はちょっと津市、地域に関わっているなという気がしていますから。

極津(ごっつ)

ホームページ <http://homepage2.nifty.com/dantyo/>

高橋美帆さんはこの人を **紹介** します。

奥野光子(おくのみつこ)さん

車いすダンスインストラクター養成講座に参加されるほか、今年5月に開催される「伊勢の国ふるさとまつり」のスタッフとして現在、準備に奔走中の日々を送られています。

お
ね
が
い

市民活動ニュースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1)原稿はニュースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までにお送りください。

(2)送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動ニュースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。

Fax.059-222-5971 E-mail open@mienpo.net

転載を希望される場合は必ずNPO担当に連絡してください。



津まつりでのスナップ。楽しそうな表情が素敵です。